

平成21年度 和歌山県文化奨励賞

み その とも こ 彌 園 友 子 (芸名 小川友子)

住 所：和歌山県和歌山市
出 身 地：和歌山県和歌山市
生 年：昭和35年

大学において後進の指導にもあたっており、演奏者、指導者の両面から、今後より一層の活躍が期待されている。

◎業績及び経歴

昭和35年和歌山市に生まれる。4歳の頃からピアノを始め、第28回全日本学生音楽コンクール西日本大会ピアノ部門中学校の部で第2位に入賞する。その後、京都市立芸術大学音楽学部に進み、卒業後はロンドンに留学しマリア・クルチョ女史に師事、この頃からイギリス各地で演奏活動を開始する。

帰国後、主として和歌山・大阪を拠点にして、ソロリサイタルをはじめ、オーケストラや室内楽、国内外の演奏家との共演など、幅広い活動を展開する。中でも、平成14年から大阪のザ・フェニックスホールにおいて実施している独自企画による「ピアノ室内楽シリーズ」は意欲的な活動として注目されている。このコンサートは日本有数のオーケストラである読売日本交響楽団のコンサートマスターとチェロ奏者を迎えたアンサンブルにより行われ、毎回高い評価を得ている。

また、地元和歌山においても10年以上続く恒例のクリスマスコンサートをはじめ、親子のための名曲コンサートや声優の小原乃梨子氏とのポエムコンサートなど、誰もが親しみやすいコンサート活動を展開している。

その一方で、母としての視点から、子どもたちに身近で本物の音楽に触れてもらおうと、幼稚園や小学校などでの演奏会にも力を入れている。中でも平成16年から毎年、県内の特別支援学校において演奏会を開催しており、学校関係者にもその活動は高く評価されている。

ピアニストとしての様々な活動とともに、相愛

■現在

ピアニスト
相愛大学音楽学部非常勤講師
日本ピアノ教育連盟会員
全日本ピアノ指導者協会会員